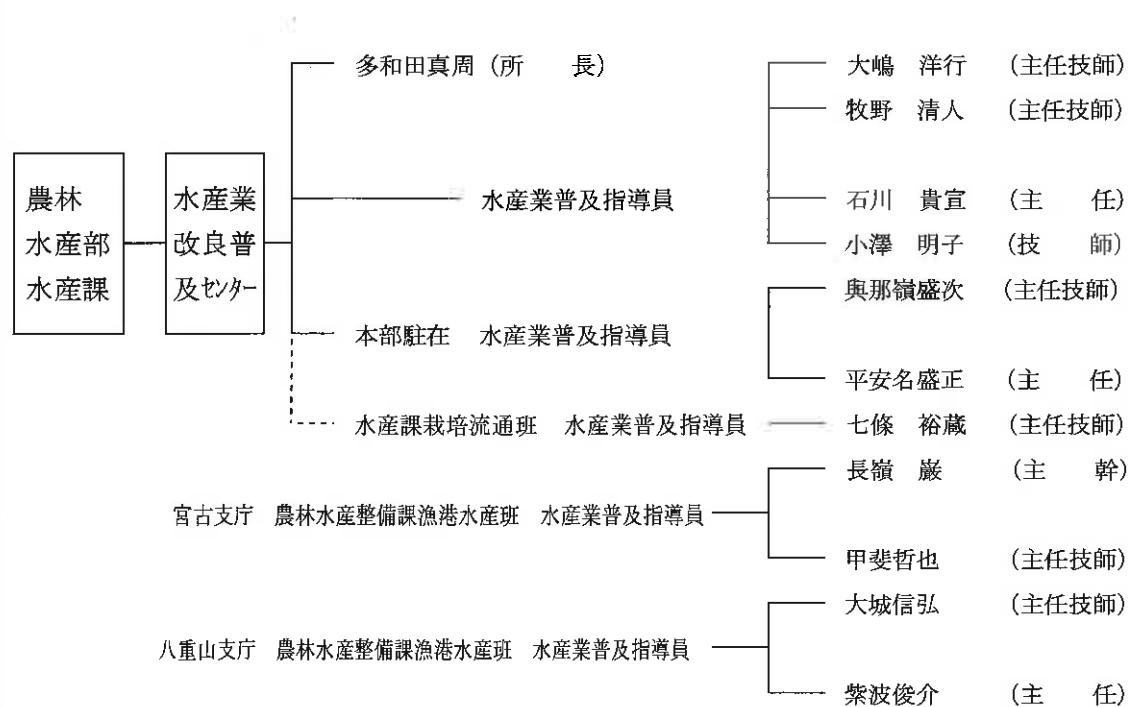


沿革

- 昭和 47 年 5 月 当初各市町村に水産技術員が置かれていたが本土復帰と同時に水産庁より水産業改良普及制度が導入され、水産業専門技術者が 2 人、水産業改良普及員が沖縄本島に 8 人（駐在：水産試験場）、宮古に 3 人、（駐在：宮古支庁農林水産課）、八重山に 2 人（駐在：八重山支庁農林水産課）配置された。
- 昭和 50 年 3 月 糸満市西崎町に庁舎新築、名称が漁業者センターとなり普及員が駐在。
- 昭和 55 年 4 月 漁業者センターを「かい」に指定。所長は専門兼務。
- 昭和 57 年 4 月 水産業専門技術員 2 人、水産業改良普及員 10 人となり、現定員となる。
- 昭和 60 年 4 月 組織改正により「漁業者センター」から「沖縄県水産業改良普及所」に名称変更。
- 昭和 60 年 12 月 増築により実習室兼展示室、図書室、事務室が完成現在に至る。
- 平成 6 年 4 月 水産業改良普及所・本部駐在設置。専門技術員 1 名、普及員 1 名配置。
- 平成 13 年 4 月 組織改正により沖縄県水産試験場と統合、沖縄県水産試験場普及センターに名称変更。
- 平成 17 年 4 月 機構改革により沖縄県水産業改良普及センターに名称変更。水産試験場は農林水産部から企画部に移行。
制度改正により水産業改良普及員と水産業専門技術員が水産業普及指導員に一元化される。

平成 19 年度水産業改良普及事業推進体制



水産業普及組織区域担当

本部駐在 北部地区担当 普及指導員 與那嶺盛次

伊是名村 恩納村
国頭村 宜野座村
今帰仁村 金武町
東 村

普及指導員 平安名盛正

伊平屋村 名護市
伊江村 大宜味村
本部町

中南部地区担当 所長 多和田真周

豊見城市 中城村
佐敷町 北中城村
南城市玉城

普及指導員 大嶋洋行

うるま市具志川
北谷町 宜野湾市
浦添市 渡嘉敷村
糸満市

普及指導員 石川貴宣

読谷村 嘉手納町
西原町 与那原町
粟国村 久米島町

普及指導員 牧野清人

沖縄市 南大東村
渡名喜村 北大東村
うるま市勝連
南城市知念

普及指導員 小澤明子

うるま市石川 那覇市
うるま市与那城
八重瀬町具志頭
座間味村

宮古地区 普及指導員 長嶺 巖
甲斐哲也

宮古島市 多良間村

八重山地区 普及指導員 大城信弘
紫波俊介

石垣市 与那国町
竹富町